

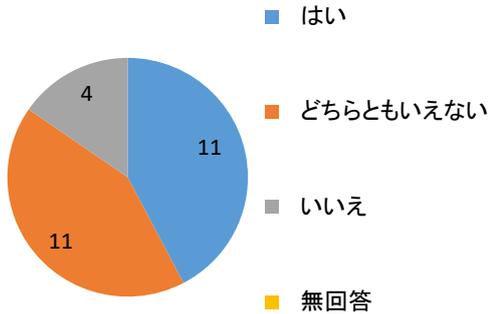
事業所向け放課後等デイサービス評価表

集計結果

回答期間:

回答者数: 26人

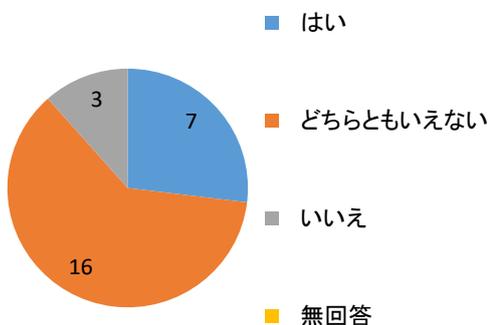
1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。



意見
<ul style="list-style-type: none"> ・個別は1対1で落ち着いて取り組める部屋の構造になっています。 ・保護者との相談スペースが確保されていないフロアがあると思います。そのため、利用時間の枠組み位の検討などをより詳細に行い、いつでも相談室として使える部屋の確保を行ったりしていいけると良いと思います。 ・クールダウンできるスペースがほしいです。 ・体が大きい児童もいるため、狭い部屋もあります。 ・隣の声ももれてやりづらいです。そのため、完全個室の部屋が欲しいです。

改善策について
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との相談スペースに関しては、1フロアにつき1部屋確保しております。1部屋しかないため、相談の上、調整して使用しています。 ・「クールダウンのスペース」「体が大きくなっているため狭い」に関しては、利用枠を調整したり、空いている部屋等を確認することで、予備の部屋を確保できるよう検討していきたいと思います。 ・「個室が欲しい」に関しては、現状は課題内容を調整することで、利用者に影響がないように配慮しています。今後、部屋の使い方に関して、検討していきたいと思います。

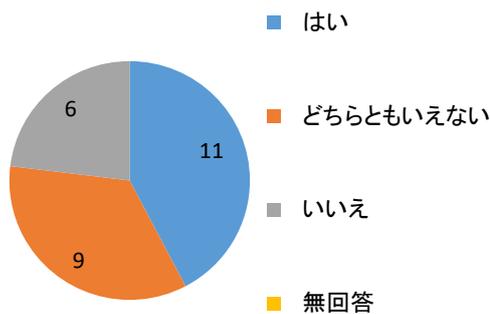
2. 職員の配置数は適切であるか。



意見
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には問題なく配置がされているが、集団療育においては、1対1で対応が必要なお子様がいる場合、より適切な支援を行う上では人数は不足する場合があります。 ・指導員の配置人数がギリギリの日もあり、お子さんの様子に常に目を向けることが難しい場面もあります。そのため、利用時間の検討や職員の配置などを考慮し、一人、指導を浮かせることが出来るように配置等を検討していくことがのぞましいと思います。

改善策について
<p>利用者と指導員の人数に関しては、指導員内でその日の利用者について話し合いそれぞれの指導員の大まかな役割を決め、円滑に療育を行えるように努めます。</p>

3. 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。



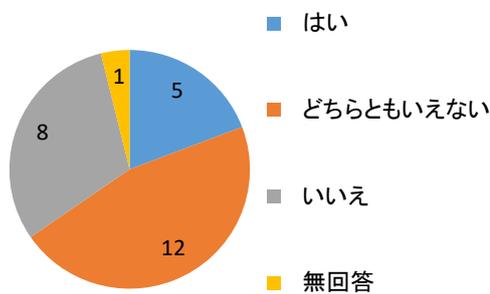
意見

・職員室が狭いと思います。
 ・バリアフリーを意識した配慮はされていない状況にあります。今後は、各フロア等、安全管理も考慮したバリアフリー化を検討していく必要があると思われます。
 ・トイレのバリアフリー化は出来ていません。

改善策について

外部のトイレを使用している為、現状はバリアフリー化を意識した配慮はなされていないです。障壁になる箇所をあげ、バリアフリーに向け検討を行って行きます。

4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。



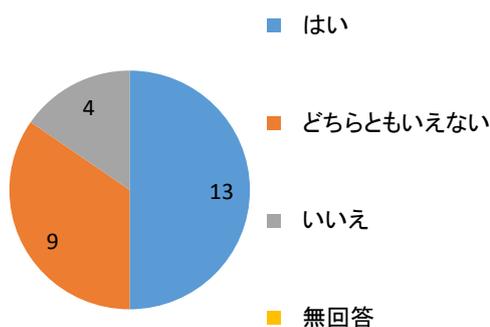
意見

・改善点や目標の選定が行えていない状況にあります。そのため、義務を見直せる会議等を実施していく機会を設けることで、現状の義務状況の把握から行っていく必要があると思います。

改善策について

PDCAサイクルについて説明をし、会議等を実施していく機会を設け、改善に繋げていきたいと思っています。

5. 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。



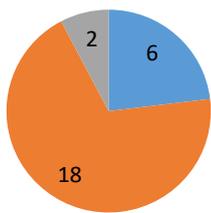
意見

・開所初年度の為、事務所としてのアンケートは初めてになります。義務改善に繋げるまでには至っていない状況です。そのため、今後は、定期的に保護者アンケートなどの実施を検討し、保護者の意向も汲み取りながら義務改善に繋げていく働き掛けが必要となると考えられます。

改善策について

定期的にアンケートを行い、業務改善に繋げていけるよう検討したいと思っています。

6. この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

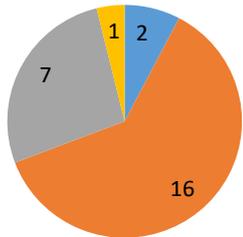
意見

・会報による公開にまでは至っていません。今後は、保護者に向けた集計した内容の配布などを検討していけると良いと思われま

改善策について

今後、ホームページで公開する予定です。

7. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

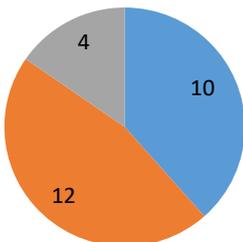
意見

・知らないです。
・第三者機関による外部評価の実施自体、行っていないため、今後は、第三者機関からの評価を受けられる制度の導入等の検討が必要となると思われま

改善策について

今後は、第三者機関からの評価を受けられる制度の導入等を検討していきたいと思いま

8. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

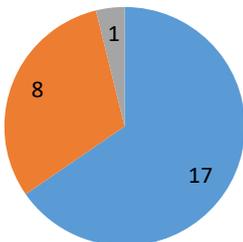
意見

・新人対応に関しては、担当スタッフが研修と療育の共有・ロープレ等を行っています。それ以外のスタッフに対しては、個別に話し合い、指導を行っています。
・事業所としての全体研修の機会は減ったと思います。今後は、定期的に、各スタッフと共有していける機会を設けていけると良いと思いま

改善策について

指導員のニーズを把握した上で定期的に研修を開催し、スタッフ間で共有していくことで資質の向上を図っていきたくと思いま

9. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

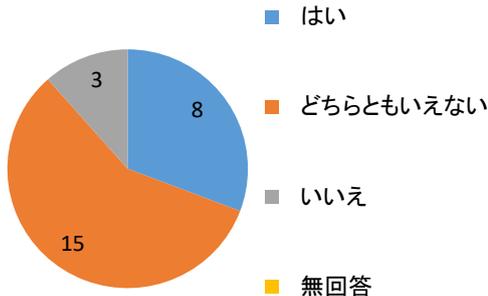
意見

・保護者からの聞き取りとしてのアセスメントは行っていますが、普段の指導の分析までには至っておらず、客観的な分析というには弱いと思われま

改善策について

児童発達支援管理責任者が保護者様や担当スタッフと療育に関して話をする機会を多く作っていくことで、客観的に分析が行えるような体制を整えていきま

10. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。



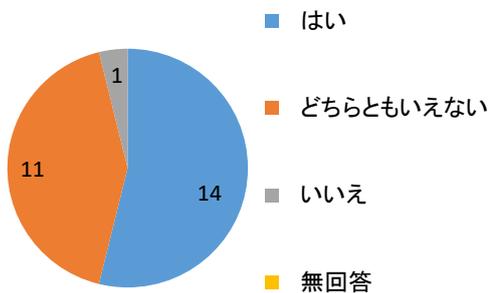
意見

・標準化されたツールの使用には至っていません。今後は、標準化されたアセスメントツール自体の構築が行えるように検討を行っていく必要があると思われます。

改善策について

現状は標準化されたアセスメントツールの使用には至っていません。お子様のニーズや指導員の意見を参考にし、導入を検討してまいります。

11. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。



意見

・集団療育に関しては、スタッフで話し合いを行い、チームでプログラムの立案を行っています。
 ・個人で検討する傾向が強いと思われます。定期的に、各スタッフで話し合う機会などを設けていくことで、よりお子さんにあった指導の検討を行っていける場を確立していくことがのぞましいと思われます。

改善策について

集団療育に関しては、引き続き担当する指導員で話し合いを行い、チームでプログラムの立案をしてまいります。個別療育に関しては、定期的に、各スタッフで話し合う機会などを設けていくことで、よりお子さんにあった指導を検討してまいります。

12. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。



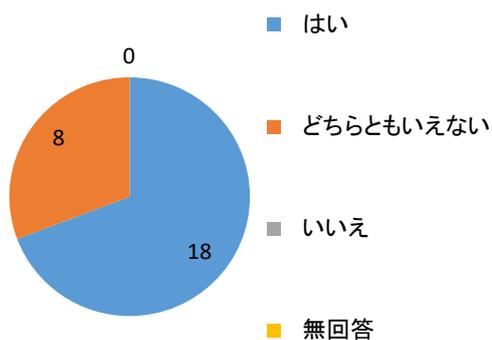
意見

(いいえ)
 ・個人で検討する傾向が強く、適切に第三者の意見等にも触れる機会を設けていくことで、柔軟な課題設定を行っていける環境を作っていくことがのぞましいと思われます。

改善策について

研修や会議の機会を定期的に設けていき、同じ内容の課題でも違った道具・方法で実施が出来るようなプログラム内容を検討できるようにしていきます。

13. 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。



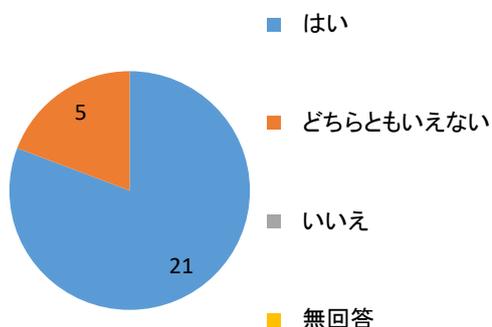
意見

・平日、休日、長期休暇というより、利用時間にあわせた課題となっており、お子さんの置かれている環境の変化までは目が向いていない設定が多いです。適時、利用時間に伴うお子さんが体感する時間軸の変化に目を向け、課題を検討していける場が必要になると思われます。

改善策について

子どもの利用状況から支援内容を検討できるようにフィードバックの時間などを活用して、保護者様と連携を取りながら支援を検討してまいります。

14. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。



意見

・同単位における集団指導・個別指導の利用の場合には、各指導ごとの計画の検討はされていません。今後は、各指導の意味合いと各指導の連携をより強化していくため、指導の形態ごとに計画を検討していくことがのぞましいと思われます。

改善策について

個別活動と集団活動を担当しているスタッフと児童発達支援管理責任者で連携を取りながら、放課後等デイサービス計画を作成していけるよう検討してまいります。

15. 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。



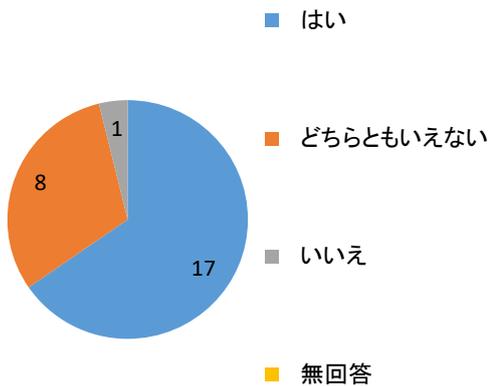
意見

・明確に検討する時間は取り切れていない時もあるため、今後は、支援に関して検討する時間の確保を行えるように義務時間の調整は必要となってくると思われます。

改善策について

毎日決まった時間に打ち合わせを行っており、子どもの利用時間の変更等により当日に行えない場合には、前日等に打ち合わせを行っております。今後業務時間等も見直し、十分に支援の内容を検討出来るようにしてまいります。

16. 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。



意見

・送迎後、時間不足のため、薄くなってしまっています。
 ・特記事項がない場合、支援の振り返りまでには至っていない状況にあります。そのため、適時、お子さんのその日の状況等を共有し、次の支援に役立てていく機会を設けていくことがのぞましいと思われます。

改善策について

重要な事項に関しては、終礼で報告をし、スタッフ間で共有できるように努めています。お子様の状況は記録に残し、スタッフ間で共有出来るようにしており、今後必要に応じてケース会議等も行っていけるよう検討してまいります。

17. 日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。



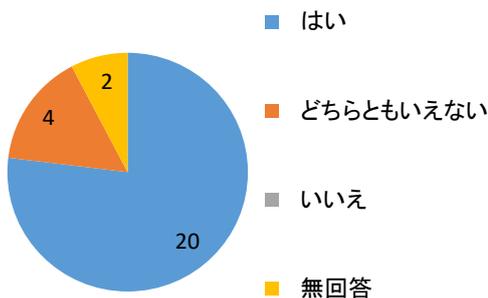
意見

・記録の整備は行ってはいますが、日々の支援の検証・改善には至っていない状況にあります。そのため、記録の記載の仕方から整備を進めていく必要があると思われます。

改善策について

利用児ごとに記録を取り、内容を確認し適切な支援が行えるよう努めております。今後、記録の記載をする際、必ず記載する項目を設け、全スタッフが見ても分かるように検討してまいります。

18. 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。



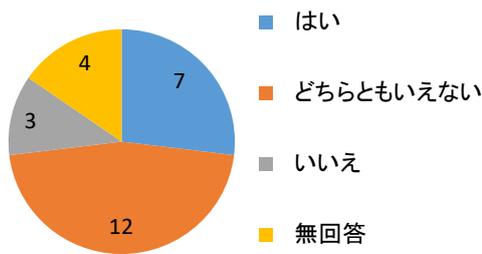
意見

・適時、モニタリングの更新は行っており、次の計画に必要な見直しは行えていると思われます。

改善策について

6か月に1回モニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。

19. ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせせて支援を行っているか。



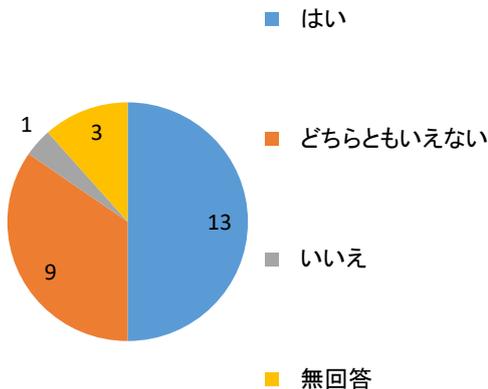
意見

・適時、モニタリングの更新は行っており、次の計画に必要な見直しは行えていると思われます。

改善策について

・曜日や週ごとにプログラムを組み立て、支援を行っている。

20. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。



意見

・責任者が参加しています。
 ・お子さんの状態の見立てが明確にし切れていない状況はあり、お子さんの状況に対して最も精通したスタッフの参加までには至っていない状況にあります。そのため、まずは、より詳細に見立てができるスタッフの育成、各専門職の専門性の理解から進めていく必要があると思われます。

改善策について

担当者または児童発達支援管理責任者が参加しております。子どもの状態を把握しているスタッフが情報提供し、会議を行っていけるよう検討してまいりたいと思います。

21. 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。



意見

・その場での対応は行えているが、業務対応時の標準化された基準がある訳ではないです。そのため、今後はマニュアルなどは施行し、業務の整合性を取っていく必要があると思われます。
 ・学校と統一した対応したいです(特に支援学級)。

改善策について

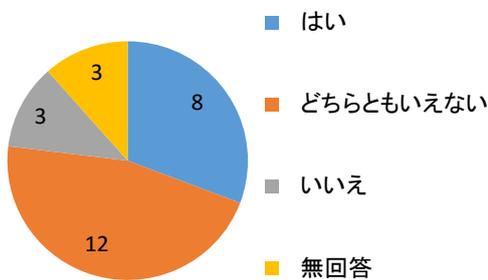
事業所向けの説明会がある場合は参加し、学校と情報共有を行っています。今後も保護者とも連携を図りながら、学校との連絡・調整を行っていきます。

22. 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。



意見
<ul style="list-style-type: none"> ・知らないです。 ・医療的ケアが必要な子どもがいません。
↓
改善策について
発作等があるお子様に関しては、事業所での対応方法や連絡先を保護者様と確認し、医療機関に関しては貼り出しを行っています。今後必要に応じて、連携を行っていただけるよう努めてまいります。

23. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。



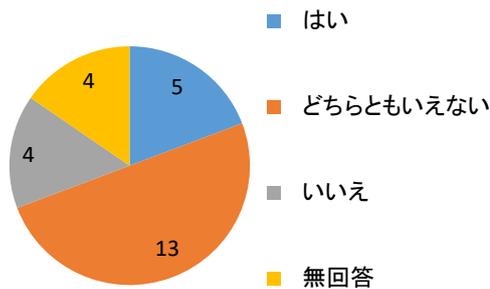
意見
<ul style="list-style-type: none"> ・知らないです。 ・基本的には、以前、通っていた施設様との連携は弱いです。今後は、適時、情報を引き継ぐための体制作りは今後の課題とされます。
↓
改善策について
事業所内の児童発達支援事業所に通っていたお子様に関しては、スタッフ間で引継ぎを行っております。今後、保育所や幼稚園とも情報共有をしていただけるよう努めてまいります。

24. 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。



意見
<ul style="list-style-type: none"> ・そうしたケースは現状いません。
↓
改善策について
必要なお子様がいる場合には、利用者様のニーズに合わせて情報提供を行えるよう努めてまいります。

25. 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。



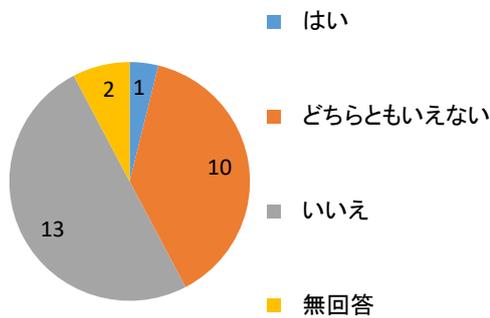
意見

・専門機関からの助言・研修の機会はほとんど設けられていないです。今後は、適時、連絡を行い、各機関との関係性から構築していくことは必須と思われます。

改善策について

研修のお知らせ等貼りだしてはいますが、スタッフ全員が参加しているわけではないため、今後は各機関と連携を行い、スタッフが研修に参加出来る機会が増えるよう検討してまいります。

26. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。



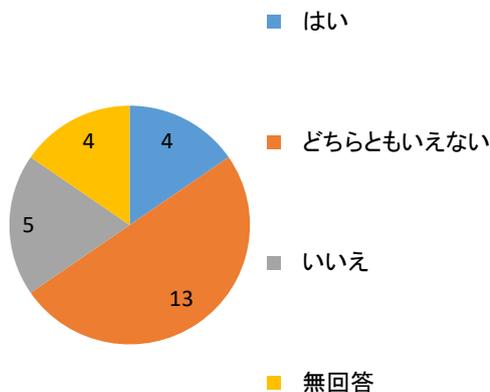
意見

・分かりません。
・事業所として交流する機会は設けていません。保護者の意向とも合わせて検討がのぞまれるトピックだと思われます。

改善策について

集団活動の場合は公共の場を通じて、障害のない子どもたちと接する機会がありますが、今後そのような場を設けていけるよう検討してまいりたいと思います。

27. (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。



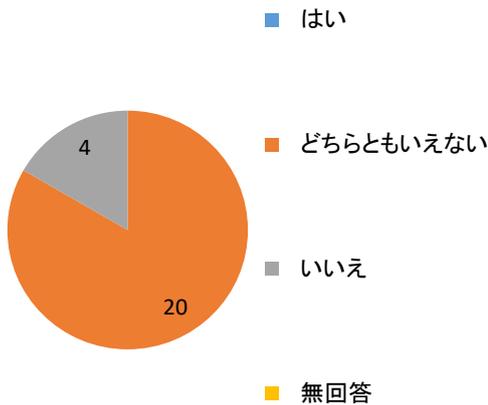
意見

・児童発達支援管理責任者が参加しています。
・知らないです。
・分かりません。
・参加はしているが、形式的な参加に留まっている状況にあると思います。今後は、参加することの有用性を提示していけることがのぞましいと思われます。

改善策について

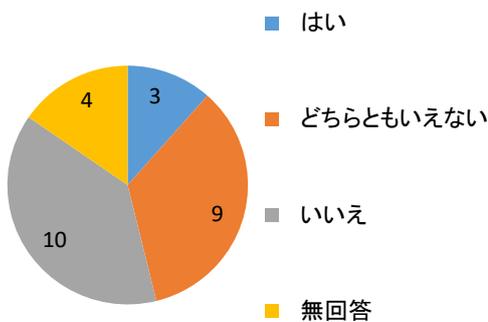
児童発達支援管理責任者が参加しています。他のスタッフに情報を共有していけるよう努めてまいります。

28. 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。



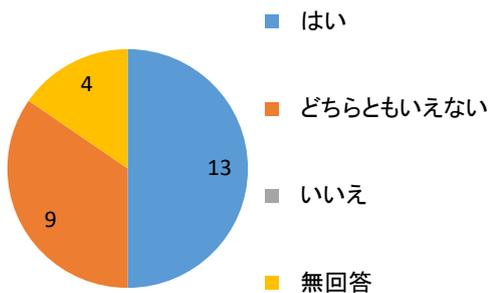
意見
<p>・療育の終了後にフィードバックの時間を設けており、そこでその日の療育の様子から最近の困りごとなどを話しています。その時間を使い、お子さまの現状がどういう状態なのか、今後どうしていきたいのかを話し合っています。</p> <p>・指導終了後には必ずフィードバックの時間を設け、お子さんの話を保護者と行える時間を設けられています。保護者支援の観点からいうと、フィードバック時間が短いため、もう少し密に話せる時間の設定は相談していけると良いと思われます。</p>
↓
改善策について
<p>今後もフィードバック時やモニタリング・アセスメント時のお話を通して、保護者様と共通理解を図れるよう努めてまいります。</p>

29. 保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。



意見
<p>・その場の保護者の悩み等に対する相談は行えているが、保護者の対応力の向上を図れるまでの支援には至っていません。今後は、ペアレントトレーニング等も含め、保護者向けの支援の検討も望まれると思います。</p> <p>・これは積極的に行った方が良いと思います。</p>
↓
改善策について
<p>スタッフの保護者への対応力の向上を図るため、研修の機会を設け、ペアレントトレーニング等実施していけるよう検討してまいります。</p>

30. 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。



意見
<p>・契約時に児童発達支援管理責任者から説明を行っています。</p> <p>・端から端までは伝えきれていないと思います。そのため、適時、利用児や保護者の方が利用しやすくなるための相談の場を確保していくことは必須と思われます。</p>
↓
改善策について
<p>今後も引き続き、利用者の方により円滑に当事業所を利用して頂けるよう、適時、事業所内において法令に基づいた運営が行えているのか等を確認する機会を設けていくことで、保護者の方に必要な情報を適切に発信し、説明していけるように対応してまいります。</p>

31. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。



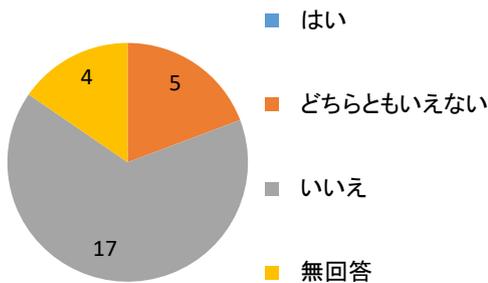
意見

- ・主に療育の終了後にフィードバックの時間にお話を伺い、助言と支援を行っています。
- ・スタッフによりけりとなっている傾向はあります。そのため、各スタッフで専門性の共有を図る機会などを設けていけるように体制を整えていくことはのぞましいと思われます。
- ・フィードバック時では時間がないので悩みについて対応できない。保護者面接と言う別枠を作った方が良いです。

改善策について

適時、相談時に必要となる適切な時間や支援内容等の見直しを行う機会を設けることで、支援の質の向上を図っていけるように対応しています。加えて、今後は、職員用の保護者支援に関する研修や勉強会等の開催を積極的に行っていくことで、各自の専門性を各職員に伝えたり、外部から様々な支援を学んだり出来る機会を増やし、事業所全体の支援力の向上を図っていけるよう努めてまいります。

32. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。



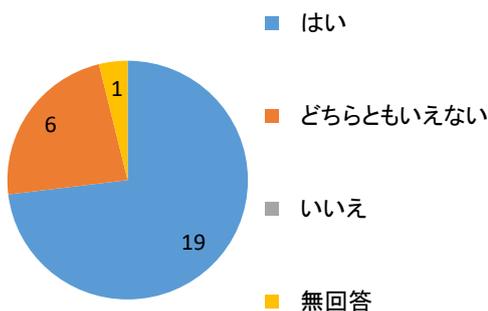
意見

- ・現状は行っていません。保護者の意向も確認した上で、今後の実施の方法等を検討していけると良いと思います。
- ・横のつながりを多く作りたいです。

改善策について

現状は行っていません。保護者様の意向も確認した上で、今後の実施の方法等を検討してまいります。

33. 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。



意見

- ・知らないです。
- ・計画書の説明の際に、児童発達支援管理責任者から保護者に説明を行っています。
- ・こういった立ち振る舞いが身体拘束となるのかというところから研修などを通してさらに学んでいく必要があると思います。

改善策について

社内研修での取り上げや身体拘束による虐待防止研修などを受講し知識構築を検討してまいります。

34. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。



意見
・各单位ごとに通信を作成し、活動内容や今後の活動などを紹介しています。 ・当事業通信といった形でお子さんの様子の発信を行っています。
↓
改善策について
活動の様子を通信により情報を発信しております。今後も必要に応じて保護者様にお知らせしていけるよう努めてまいります。

35. 個人情報に十分注意しているか。



意見
・個人情報の取り扱い方など、マニュアルなどを施行し、個人情報の取り扱いに関する意識の底上げを行う機会は必須とされます。
↓
改善策について
個人情報取り扱いのマニュアルを作成し、個人情報の取り扱いに対する意識を向上出来るよう努めてまいります。

36. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。



意見
・お子さま、保護者様に応じて、情報伝達の際に電話・メール・直接会ってお話をする等どれが一番適切か考えながら対応しています。 ・音声情報のみでのやり取りを強いている状況はあり、配慮がし切れていない状況はあります。お子さんや保護者の置かれている状況を理解し、どういった支援等があると検討していく機会は、今後、必須になると考えられます。
↓
改善策について
児童に対してはイラストや写真を用いて視覚伝達を行っています。保護者様においては必要に応じて面談等を行い、意思の疎通を図れるよう努めてまいります。

37. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。



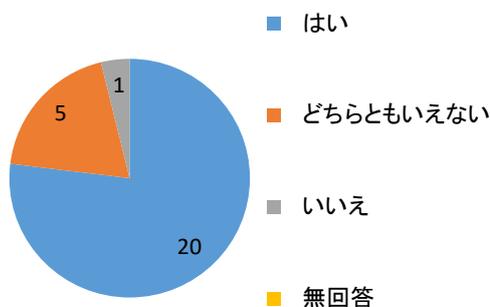
意見
・現状は行っていません。利用者の意向も踏まえ、検討していくことがのぞましいトピックだと思われます。
↓
改善策について
利用者の意向も踏まえ、地域の中で職員や利用者様が関わり合いを持つことのできる行事等も検討してまいります。

38. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。



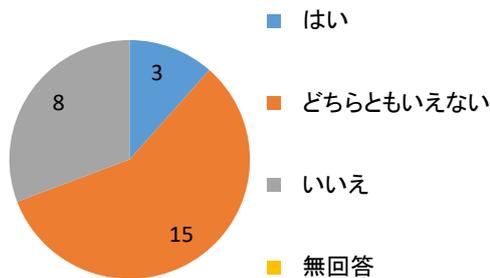
意見
・マニュアルは策定してあるが、周知徹底までは至っていません。 ・マニュアルの策定までには至っていません。そのため、今後は、マニュアルの作成から行っていく必要があると思われます。
↓
改善策について
早期に各マニュアルについて策定を行い、職員や保護者様に周知出来るよう努めてまいります。

39. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。



意見
・避難経路の確認、消火活動などの防災訓練を定期的に行っています。 ・危機意識を持った訓練には至っていません。今後は、実際の動き等を明確に確認する機会を設け、実際に災害等が生じた時と同様に行動するための訓練を実施する必要があると思われます。
↓
改善策について
避難経路の確認や、消火活動など現在実施している項目に加え、シュミレーション等実際に災害が発生した状況を想定し、同様に行動ができる内容の訓練を実施していけるよう努めてまいります。

40. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。



意見

・現状は行っていません。今後は、研修等を通して、虐待を防止していくための各スタッフの意識の向上は行っていく機会を設けていくことは必須と思われます。

改善策について

研修などを通じて虐待の防止や対応などを考える機会を確保し、職員の共通理解を促していけるよう努めてまいります。

41. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。



意見

・計画書の説明の際に、児童発達支援管理責任者から保護者に説明を行っています。
・どこまでのラインの行為が身体拘束となるのかの認識が弱いように感じます。そのため、こういった立ち振る舞いが身体拘束となるのかというところから研修などを通して学んでいく必要があると思われます。

改善策について

身体拘束と捉えられる行為について、研修等を通じて職員の認識を高めていきたいと思えます。その後、実際場面においてどのような状況で身体拘束を行う場合があるか改めて職員で検討してまいります。決定事項については児童発達支援管理責任者から保護者様に十分に説明出来るよう努めてまいります。

42. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。



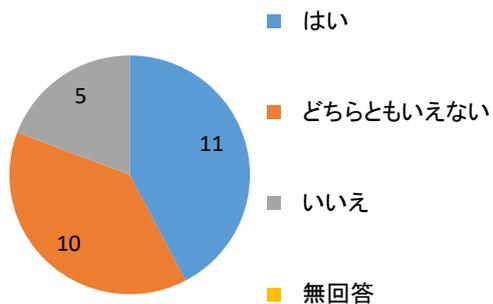
意見

・保護者には確認しているが、医師までの確認には至っていません。そのため、アレルギーがあるお子さんに対しては医師の指示書等の確認もさせていただく機会を設けていくことがのぞましいと思われます。

改善策について

引き続き、保護者様にお子様のアレルギーの確認を行ってまいります。それに伴い、保護者様より医師の指示書を取得して頂き、それに基づく対応を事業者側でも行っていけるよう努めてまいります。

43. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。



意見
・現状、ヒヤリハットの基準も標準化されていない状況にあります。そのため、研修などを通し、適切な基準の共有から行っていくことで、各スタッフの意識の向上を図っていけると良いと思われれます。
↓
改善策について
全体のマニュアルを作成する中で、ヒヤリハットの事例集も作成していきたいと思います。また、職員内で十分に共有を行い、該当するような状況が起きないように考えて支援を実施していけるよう努めてまいります。